

青梅市社会教育委員会議 11月定例会

平成29年11月21日

201 会議室

出席者 委員 7名

事務局 3名

1 開 会

【議 長】秋の大きな文化的な行事や産業祭もだいたい終わり、皆様には足を運んでいただきありがとうございました。

【課 長】急に寒くなったが、体調を崩さないよう健康にご留意いただきたい。

2 報告事項

(1) 平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会
について

ア 日 時 平成29年10月21日(土)午後2時～

イ 会 場 羽村市役所 4階大会議室A

ウ 内 容 事例発表「子どもフェスティバル」
情報交換会

エ 参加者 新藤議長、栗原委員、小花委員、横手委員
随 行 事務局 木下

【議 長】参加された皆様から意見等伺いたい。

【委 員】同じ分科会の中に、自治会長や子供会や学校の役員など積極的に参加している方がいて、素晴らしいパワーを持っている方だと感心した。

【議 長】事前に各市町村から資料を集めて、よい発表だった。先日の関東甲信越静の研究大会も似たような、地域・学校・大人・子どもをつなぐという役割という発表ものだったが、羽村の方も子どもフェスティバルの企画・立案し、子どもを主体として、大人がどうかかわっていくか、どう地域の活性化の道を見出すかという発表だった。何をやるにも、まず行事日程調整の必要性を感じた。特に体育関係のイベントは日程が重なりやすい。イベントの日程を決め、関係団体に早めに周知することで、何らかの調整が行われ、協力を得られる部分も出てくるかもしれない。こういった運営の方法について考えなければならぬ。そして関係団体の人を実行委員会に取り込むことも協力してもらえという発表があった。また、子どもを巻き込み参加させるには、学校を通して協力を求めると一定の数は必ず集まる。あまり依頼させると困るということもあると思うが。イベントの内容について高めるためには、NPOとの連携に注目しているという発表があった。子どもが多く参加する団体に対する呼びかけを大事にしていきたいとのことだった。福生市はコミュニティスクールを独自に持っており、放課後子ども教室も密接に連携して対応しているとのことだった。あまり負担に思わず、スムーズに行っているとのことだった。審査員が必要な

行事については、審査員になる人に色々な人を動員すると人が集まる。PTAや町内の役員について、なりたい人が少ないと聞いているが、何が楽しいのか、どんな意味があるのか粘り強く発信し、後継者の育成をしていくことが大切である。社会教育委員について、活動する社会教育委員であってほしいので、色々なイベントに充て職とする場合もあるということもあった。また、一般公募を取り入れてやっていくということも話されていた。

【事務局】分科会で羽村市の小学校長の話の中に、学校を通すと集客ははかれるが、校長としては、全部学校頼みではなく、違う方向も併せて考えていただくと学校側としてはありがたいとのことであった。また、羽村市の子どもフェスティバルは大規模なもので、地域の協力で成り立っていることがわかった内容だった。

(2) 第48回関東甲信越静社会教育研究大会 静岡大会について

ア 日 時 平成29年11月16日(木)～17日(金)

イ 場 所 プラサ・ヴェルデ(静岡県沼津市)

ウ 参加者 新藤議長、森田委員

随行 事務局 木下、田中

【委員】記念講演は引き込まれる話で、新しい発見が多くあった。しかし、会場の椅子がとても固く、座っているのが大変だった。新施設をつくる際にはご留意いただければと思う。内容は、多くの人たちに地元のいいものを伝えて、未来につなげていきたいということで、色々なことに久能山東照宮博物館館長さんが挑戦されている姿は、ほんとうにすばらしいことだと思った。新しい発見として、富士山の八合目以上は浅間神社がお持ちになっていることや、徳川家康が人質にとられて苦労した話、家康の最後の10年間は、平和主義者で、人間をつくるためには教育が必要だということを説き、人をつくることが国づくりの方針でされていたということだった。金属活字を11万6千個作り、家臣に本を作って勉強させたということもお話されていた。スペイン国王から送られた時計について、いいものを多くの人に、次の世代に伝えていきたい思いで、国宝にたく奔走している話もあった。富士山、東照宮という地域にある素晴らしいものを、多くの人に、未来の人に伝えるには、継続することの大切さについても話しされていた。シンポジウムでも、同様に継続の大切さについての話があった。発表の中で、めずらしいと思ったのが、伊豆の景色をお菓子にして販売するというもので、それを通して子ども達の理科の成績が良くなったという話もあるとのことだった。子育て応援サークルにおいては、人との出会いを大切にし、そこで育った子が今度は親となって参加しているという話があった。青梅でも色々なことをやっているが、外に発信していないことが多いのではないのかと感じた。今回のでは、インターネットで全国に発信するなど、発信の方法が上手なのかと思った。

【議長】シンポジウムでは3人の方が発表した。NPOが地域おこしのために活動されている話を聞くことができた。参加NPOでは、子どもたちと静岡

で働く大人を紹介する情報誌「コドモンデ」をつくることで、地域活動に役立っていた。ジオガシは、地域のものをお菓子にしていくおもしろい発想だった。子育て応援サークルは、人をつなげる、地域をつなげる、未来につなげるを目指す活動をしており、育児は育自というように、活動をしていく中で、自分も成長しているという話があった。どの団体も、活動するためには、補助金もらうなど資金がいるという話もされていた。

(3) 平成29年度青梅市芸術文化奨励賞について (報告資料1)

【事務局】10月の定例会で審議した通り決定した。11月22日に芸術文化奨励賞の表彰式がある。

(4) 青梅市社会教育委員会議10月定例会会議録について (報告資料2)

【事務局】事務局から概要説明。

(5) その他

【委員】昨年まで主に市民会館で開催されていた青梅市総合文化祭が、21団体14の会場に分かれて行っているが、今のところ事故もなくできている。来年も色々な会場に分かれて開催する予定である。ご協力をいただきたい。

3 協議事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・全体研修会について (協議資料1-1~2)

ア 日時 平成29年12月2日(土)午後1時~4時30分

イ 場所 立川市たましんRISURUホール

ウ 内容 式典・各ブロック研修会実施報告・講演

エ 参加者

新藤	森田	武下	渋谷	栗原	小花	加羽澤	金子	園田	横手
○							○		

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】参加希望者を取りまとめたい。

~新藤議長、金子委員の2名が参加希望~

(2) 平成33年度関東甲信越静社会教育研究大会準備会の設置について (協議資料2)

【事務局】事務局から概要説明。

(3) 青梅市芸術文化奨励賞交付規則の改正について (協議資料3)

【事務局】事務局から概要説明。今後の定例会で協議をお願いしたい。

(4) 12月定例会について
～休会とすることです承～

(5) その他
特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 平成30年1月16日(火)